

□主な内容

【第5回EST普及推進フォーラムの結果等を公表しました！】

EST普及推進委員会は、第5回EST普及推進フォーラムの結果や第3回EST交通環境大賞受賞団体の取組みについてまとめた資料をESTポータルサイトに掲載しました。

【第七回日本モビリティ・マネジメント会議の開催について】

一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議は、第七回日本モビリティ・マネジメント会議(2012年8月3日(金)～5日(日)、於:富山国際会議場)の開催を公表しました。

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 68 回)

●「震災復興における地域公共交通の課題」

【宮城大学 事業構想学部 教授 徳永幸之】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 68 回)

●「地域に広がる「エコドライブ」！～免許取得者の一割・2000人受講をめざして～」

【山形県高畠町 生活環境課 課長補佐 菊地英雄、環境推進係長 村上奈美子】

3. ニュース／トピック

●第5回EST普及推進フォーラムの結果を公表しました【EST普及推進委員会】

●第3回EST交通環境大賞ダイジェストを公表しました【EST普及推進委員会】

●都市の低炭素化の促進に関する法律案の閣議決定について【国土交通省】

●第 26 回「エコルールマーク」の認定について【国土交通省】

●4月2日(月)より「エコカー補助金」の受付が開始されます【国土交通省】

●第2回、第3回持続可能なまちづくり研究会の開催について【国土交通省】

●「二代目地域公共交通マイスター」の就任について【国土交通省関東運輸局】

●「smart move × きんき bikebiz 自転車利用促進支援ガイド」について【環境省近畿地方環境事務所】

●第1回カーボン・オフセット大賞受賞団体決定について【カーボン・オフセット推進ネットワーク】

●太陽光でマイカー充電～JR籠原駅パーク＆ライド実証実験施設の建設について【埼玉県、本田技研工業】

●でんきバス「はむらん」全国初の実用運行【羽村市】

●全国初 飯田市が「円形交差点(ラウンドアバウト)」導入へ【飯田市】

- 自転車市民共同利用システム「アヴィレ」新サービスの開始について【富山市】
- 徳之島で電気バス運行へ【徳之島町】
- 全顧客を対象に「2011 年年間 CO2 削減証明書」を発行【エコ配】
- 佐川急便「カーボン・ニュートラル認証」取得について【佐川急便】
- 2011 年ヨーロッパモビリティウィーク賞はポローニャ市が受賞【欧州委員会】
- アジア太平洋地域でエコドライブ研修の開始について【フェデラル エクスプレス】

4. イベント情報

- 自治啓発セミナー「みんなで支える地域公共交通」【2012/3/29】
- つくば市「エコ通勤ウィーク」【2012/3/26-30】
- 地域公共交通のあり方を交通基本法とともに考えるシンポジウム(第 7 回 交通の諸問題に関する検討会)【2012/4/13】
- 「カーボン・オフセットの最新動向と取り組み事例」セミナー【2012/4/20】
- アースデイ東京 2012【2012/4/21-22】
- 第七回日本モビリティ・マネジメント会議【2012/8/3-5】

5. その他

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めました！
- 交通・観光分野でのカーボンオフセットの普及に取り組んでいます！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを 10 月から発行しています！
- 「グリーン経営認証制度」専用ホームページを開設しました！
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- エコドライブ講習を認定し、受講者に修了証を発行しています！
- 記事募集中！

=====

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 68 回)

- 「震災復興における地域公共交通の課題」

【宮城大学 事業構想学部 教授 徳永幸之】

東日本大震災の津波により、沿岸部の市街地や集落は壊滅的な被害を受け、1年経った現在でも仮設での暮らしを余儀なくされています。浸水区域外に設けられた仮設住宅は従来のバス路線から離れた場所にあるものも多く、また、病院や商店なども被災し、目的地が内陸部や隣接市町村などに変化し、長距離移動を強いられています。また、復旧・復興が進むとともにそれらの分布も日々変化していきます。

被災地の多くは被災前から自治体が地域公共交通を確保していましたが、自治体職員は復旧や復興計画策定業務で手一杯で、このようなニーズの変化を的確に把握し、変化に応じた路線やダイヤの変更をしていくことは困難な状況です。従来路線をベースに路線延長などで対応した結果、時間がかかる、便数が少なくなるなど、今まで以上にサービスが低下してしまったところも多くあります。その結果、仮設居住者の多くは送迎を含む車での移動

になっており、車を使えない人は引きこもりや他市町村への転居してしまうなど、地域・環境の持続に重大な問題となってきています。

地域公共交通に対しても復興支援の制度・予算の手当もなされていますが、人手不足などで対応できずに活用できていない自治体もある一方で、これを活用して増車・増便している自治体もあり、自治体によってかなり温度差がみられます。ただし、復興支援が無くなったときに、そのサービスを維持できるのかという課題はともに抱えています。

震災直後は、ガソリン不足で車が使えなかったことから、「歩いて暮らせるまちづくりを」という声が多かったのですが、復興計画の議論は、高台移転など安全で利用可能な場所の確保が優先され、そこを公共交通でどう結ぶのかということが後回しにされています。従来の都市計画の反省を踏まえ、土地利用と交通、特に交通弱者のことを一緒に考えて復興計画が進められていくことを期待します。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 68 回)

●「地域に広がる「エコドライブ」！～免許取得者の一割・2000人受講をめざして～」

【山形県高島町 生活環境課 課長補佐 菊地英雄 環境推進係長 村上奈美子】

高島町では環境学習に力を入れ、10年前から町独自の「環境アドバイザー」を養成・認定し、町内の小中学校はじめ企業や一般住民の方々を対象にした活動を続けてきました。高島町は、公共交通機関がほとんど整備されておらず、自家用自動車が移動手段となっています。そこで、平成19年度から新たに、エコドライブにもチャレンジしようと、環境アドバイザーを中心に「エコドライブ普及員」を15名養成し、「エコドライブ教習会」を始めました。ひとりでも多くの人に実践してもらいたいと思い、始めた実車教習会は、この5年間で100回、受講者は1,300名になりました。教習会の結果、走行燃費は講習前と比べて平均18.85パーセントも向上し、効果が大きいことをあらためて実感しています。

町長、町議会議員はじめ、町職員は全員受講、各種団体や一般住民、特にISOやエコアクション取得企業などは毎年継続してエコドライブ教習会に取り組んでもらっています。このような成果があらわれたのは、日頃から、環境学習に取り組んでいたこと、住民と行政が役割分担をしながら共に進めてきたことにあります。

今では、町内だけの開催に留まらず、近隣市町にも地域実情に合った教習会を行うまでになり、地域に広がることで、より効果が高まるものと期待しています。

これからも免許取得者の一割、2,000名の受講を目指し続けていきます。

3. ニュース／トピック

●第5回EST普及推進フォーラムの結果を公表しました【EST普及推進委員会】

EST普及推進委員会は、平成 24 年 2 月 22 日(水)に東京で開催された第5回EST普及推進フォーラムについて、ESTポータルサイトに結果を公表しました。

http://www.estfukyu.jp/forum_kaisai_kekka6.html

●第3回EST交通環境大賞ダイジェストを公表しました【EST普及推進委員会】

EST普及推進委員会は、第3回EST交通環境大賞に受賞した取組みの内容、表彰式の様子、講評等をまとめた資料をESTポータルサイトに掲載しました。

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2011_02.html

●都市の低炭素化の促進に関する法律案の閣議決定について【国土交通省】

政府は平成 24 年 2 月 28 日「都市の低炭素化の促進に関する法律案」について閣議決定を行いました。本法律案は、社会経済活動その他の活動に伴って発生する二酸化炭素の相当部分が都市において発生しているものであることに鑑み、都市の低炭素化を図るため、都市の低炭素化の促進に関する基本的な方針の策定、市町村による低炭素まちづくり計画の作成及びこれに基づく特別の措置並びに低炭素建築物の普及の促進のための措置を講ずるためのものです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000062.html

●第 26 回「エコレールマーク」の認定について【国土交通省】

平成 24 年 3 月 2 日に第 26 回エコレールマーク運営・審査委員会が開催されました。そこで、エコレールマークの認定商品として 9 件、認定企業として 2 件を新たに認定することが決定されました。エコレールマーク制度は、地球環境に優しい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。「エコレールマーク」の表示された商品等を通じて、流通過程において企業が地球環境問題に貢献していることを消費者に意識していただき、企業の鉄道貨物輸送へのモーダルシフトを促進することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/tetsudo02_hh_000025.html

●4 月 2 日(月)より「エコカー補助金」の受付が開始されます【国土交通省】

国土交通省では、バス、トラック、タクシー分野における環境対応車の導入を促進するため、環境性能に優れた自動車を購入する自動車運送事業者等に対し、購入費用の一部を補助する「エコカー補助金」の受付が 4 月 2 日(月)より開始されます。この「エコカー補助金」は、平成 23 年 12 月 20 日から平成 25 年 1 月 31 日までに新車新規登録(又は新規検査届出)を行った環境対応車が対象となります。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr10_000012.html

●第2回、第3回持続可能なまちづくり研究会の開催について【国土交通省】

国土交通省では、持続可能なまちづくり研究会(第2回:平成24年3月7日、第3回:3月12日)が開催されました。持続可能なまちづくり研究会は、高齢化・人口減少の進行する中で、重要な課題となっている地方都市を含めた持続可能で活力あるまちづくりについて、省エネ・環境重視型の都市への変換を促すための低炭素まちづくりの推進という観点から、今後の持続可能なまちづくりの方向性及び具体的手法について検討を行うことを目的として設置されています。

http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk5_000023.html

●「二代目地域公共交通マイスター」の就任について【国土交通省関東運輸局】

国土交通省関東運輸局は、平成24年3月9日に開催した第2回地域公共交通マイスター選定委員会の結果を踏まえ、4名が新たに二代目地域公共交通マイスターに就任したことを発表しました。「地域公共交通マイスター」は地域公共交通を取り巻く課題や交通基本法案の趣旨を踏まえ、公共交通に携わる人材を育成し、地域が自ら主体的に公共交通の維持、活性化・再生、利便性の向上等を図ることを推進するため、先進的・独創的な取組を実践する地域において中心となって活躍し、知識、経験、熱意を有する自治体職員、交通事業者職員、NPO法人職員等の方々を任命する制度です。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000043.html

●「smart move × きんき bikebiz 自転車利用促進支援ガイド」について【環境省近畿地方環境事務所】

近畿地方環境事務所では、「smart move」が推進する5つの取組の中で、「自転車の利用促進」に着目し、これを「きんき bikebiz」として命名し位置付けています。この度、近畿地域の自治体、企業、NPO、市民団体などが進める自転車利用の取組を掘り起こし、自転車利用促進の実践項目として分類、整理するなどして、自転車利用促進策のためのガイドブックを作成しました。

http://kinki.env.go.jp/to_2012/0316a.html

●第1回カーボン・オフセット大賞受賞団体決定について【カーボン・オフセット推進ネットワーク】

カーボン・オフセット推進ネットワークが主催するカーボン・オフセット大賞は、低炭素社会の実現に向けた、優れたカーボン・オフセットの取組を行う団体を表彰することにより、現在取組を行っている多くの団体の取組を奨励するとともに、事例の紹介を通じて、カーボン・オフセットの意義と取組への理解が社会全体に広く浸透することを目的としています。今回は奨励賞において、日本興亜損害保険株式会社の保険商品・事故対応でカーボン・オフセット環境にやさしい自動車保険一等が受賞されました。

<http://www.carbonoffset-network.jp/news.html?id=210>

●太陽光でマイカー充電～JR籠原駅パーク&ライド実証実験施設の建設について【埼玉県、本田技研工業】

埼玉県と本田技研工業は、JR 籠原駅北口近辺でパーク&ライド実証実験施設を建設することを発表しました。快晴日数が日本一である熊谷市の特性と籠原駅が始発駅であることを活かしたパーク&ライド施設により、県北地域での EV・PHV 自動車の有効な利活用を検討していきます。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/news/page/news120305-02.html>

●でんきバス「はむらん」 全国初の実用運行【羽村市】

羽村市では、3月10日から、市内を循環するコミュニティーバス「はむらん」に電気自動車（EV）のバス1台が導入されました。導入にあたり、JR 青梅線・羽村～小作（おざく）駅間にある市役所や市民会館、図書館などの施設を巡る 7.4km の新ルートを新たに開設しました。

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000003043.html>

●全国初 飯田市が「円形交差点（ラウンドアバウト）」導入へ【飯田市】

飯田市では、平成 22 年度から（公財）国際交通安全学会と連携し、吾妻町ロータリー（ラウンドアバウト）交差点において「安全でエコなラウンドアバウトの実用展開に関する研究」を進め、社会実験が実施されてきました。このことについて、一定の技術的知見も得られたことから、飯田市で今後実施する交差点の整備・改良にあたっては、構造基準に該当する事項や地域全体の交通体系などを検証した上で、関係機関と地域の合意が得られた場合においては、ラウンドアバウト型の交差点が採用されることとなりました。

<http://www.city.iida.lg.jp/iidaspher/www/info/detail.jsp?id=8156>

●自転車市民共同利用システム「アヴィレ」新サービスの開始について【富山市】

富山市では、平成 23 年 3 月 20 日から、これまでの「定期パス」と「7 日パス」に加えて、「1 日パス」と「2 日パス」のサービスが開始されます。特に 1 日パスは、これまで必要であった事前のクレジットカード登録が必要なく、利用したい時にホテル等の販売窓口において現金で登録することができ、容易に自転車を利用できるようになります。

<http://www.city.toyama.toyama.jp/kankyobu/kankyoseisakuka/ondankataisakukikaku/jitenshakyodoriyo.html>

●徳之島で電気バス運行へ【徳之島町】

徳之島町では、全国の離島では初となる電気バス運行を開始しました。このバスは環境省の平成 23 年度チャレンジ 25 地域づくり事業として、3 年間かけて低炭素型交通システムの構築を目指す実証実験を行うために導入されたものです。3 月 1 日から実証走行がスタートしました。

<http://www.tokunoshima-town.org/index.php?oid=180&dtype=1001&pid=17>

●全顧客を対象に「2011 年年間 CO2 削減証明書」を発行【エコ配】

エコ配は、2011 年の年間 CO2 排出量を発表するとともに、企業物流における環境負荷を「見える化」することを目的に、「2011 年年間 CO2 削減証明書」を順次交付することとしました。

http://www.ecohai.co.jp/pdf/press_release/20120229.pdf

●佐川急便「カーボン・ニュートラル認証」取得について【佐川急便】

佐川急便は、環境省の「カーボン・ニュートラル認証試行事業」に採択され、3 月 21 日からカーボン・ニュートラル認証取得に向けた本格的な取り組みを開始すると発表しました。サービスセンター運営に必要な電力使用量、営業店からの輸送にかかる燃料使用量などを温室効果ガス排出量に換算し、その全量をグループで所有する排出削減量（国内クレジット）でオフセットすることで 2013 年 5 月のカーボン・ニュートラル認証取得を目指します。

http://www2.sagawa-exp.co.jp/newsrelease/detail/2012/0319_737.html

●2011 年ヨーロッパモビリティウィーク賞はボローニャ市が受賞【欧州委員会】

欧州委員会は、2011 年ヨーロッパモビリティウィーク賞に、イタリアのボローニャ市が選出されたと発表しました。2011 年ヨーロッパモビリティウィークは、従来型自家用車の使用に代わる、新しい移動手段をテーマとして、クリーンで資源効率の高い輸送システムへの移行を目指し実施されました。

<http://www.mobilityweek.eu/news/view/article/2012/03/06/bologna-wins-european-mobility-week-award-2011/>

●アジア太平洋地域でエコドライブ研修の開始について【フェデラル エクスプレス】

フェデラル エクスプレスは、アジア太平洋地域の 10 カ国（オーストラリア、中国、香港、日本、韓国、マレーシア、ニュージーランド、シンガポール、台湾、タイ）でエコドライブ・プログラムを開始しました。フェデラル エクスプレスで働く集配担当者の運転習慣を変えることで、燃費効率を改善することが目的です。

<http://www.fedex.co.jp/pressrelease/2012/07.html>

4. イベント情報

●自治啓発セミナー「みんなで支える地域公共交通」

日時：2012 年 3 月 29 日（木） 13:30～16:30

場所：（神奈川県）秦野市文化会館 小ホール

主催: 秦野市

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/chiiki/event/jiti-seminar.html>

●つくば市「エコ通勤ウィーク」

日時: 3月26日(月)～30日(金)

場所: 各自実施し、実施結果を報告

主催: つくば市環境都市推進課

<http://www.city.tsukuba.ibaraki.jp/173/9593/10049/010104.html>

●地域公共交通のあり方を交通基本法とともに考えるシンポジウム(第7回 交通の諸問題に関する検討会)

日時: 2012年4月13日(金) 14:00～18:20

場所: (独)国立大学財務・経営センター 学術総合センター 一橋記念講堂

主催: 国土交通省

<http://www.mlit.go.jp/common/000191711.pdf>

●「カーボン・オフセットの最新動向と取り組み事例」セミナー

日時: 2012年4月20日(金) 13:30～17:10

場所: 新丸の内ビルディング 25F 大会議室

主催: 三菱UFJリース株式会社

http://www.j-cof.go.jp/document/eventDB/0154_01.pdf

●アースデイ東京 2012

日時: 2012年4月21日(土)、22日(日)

場所: 代々木公園・渋谷・原宿・表参道他

主催: アースデイ東京 2012 実行委員会

<http://www.earthday-tokyo.org/>

●第七回日本モビリティ・マネジメント会議

日時: 2012年8月3日(金)～5日(日)

場所: 富山国際会議場(3階メインホール他)

主催: 一般社団法人 日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

5. その他

- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めました！

「@officeEST」

<http://twitter.com/#!/officeEST>

<http://www.estfukyu.jp/>

- 交通・観光分野でのカーボンオフセットの普及に取り組んでいます！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを10月から発行しています！
受信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

- 「グリーン経営認証制度」専用ホームページを開設しました！

<http://www.green-m.jp/>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- エコドライブ講習を認定し、受講者に修了証を発行しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecodrive/ecodrive_top.html

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

=====

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>